

参加者からいただいたご意見・ご要望をご紹介します。

多くの皆様にご参加いただくとともに、貴重なご意見等をたくさんいただきました。いただいたご意見等は、今後の議会・議員活動に活かしてまいります。

◆ (子どもから大人までの) 健康づくりについて

- ①「とっとり元気プラン2016」が作られているが、市民にほとんど読まれていない。健康診断の受診率も低い。一方、健康保持や病気の予防などについて、いろんな情報があるが、実際に何をどうしたらいいのかわからないという市民もいる。こうした中で、どのような取り組みや働きかけが必要なのだろうか？
- ②城北地区では、健康寿命4つの特効薬などを記した「めざせ健康寿命 日本一」城北地区からと題したチラシ(ポスター)を作成し、全戸配布したところ、よく読まれている。健康づくり推進員の活動を身近に感じてもらうための活動をしているが、市民の認知度はどうだろうか。鳥取に移住して来たが、鳥取の高齢者は元気だと感じるし、子育て支援王国だとも思う。しかし、病児保育については、施設数やベッド数など充実が必要だと思う。
- ③広報だけではだめだ。声をかけ、巻き込み引き込む、そして一緒に汗を流す働きかけや活動が大事だ。他の自治体の取組みも参考になる。埼玉県のある市は、ラジカセやCDの購入補助や、一斉清掃の前にラジオ体操をするなど、地域でのラジオ体操の普及に効果を上げている。滋賀県のある町は、公費で中学3年生のピロリ菌検査と除菌を行っている。神戸市のある中学校は、子どもが親にがん検診を呼び掛ける手紙を出す取組みをしている。
- ④鳥取市議会も先進地を視察して本市の施策に活かしてほしい。
「まちの保健室」などの活動もされている。保健師の役割も大きい。議会も健康づくりの取組みをしている団体との意見交換や連携を。また、このTalk Cafeに保健師も参加していただく企画も検討してほしい。
- ⑤受動喫煙に関する法律ができたが、条例を制定している自治体もある。本市において条例の検討はされているか。健康診断の受診は、個人の経済面も影響している。早期発見による早期治療は医療費の削減にもなるので、市の補助も検討して欲しい。市民の関心を高める意識づけや、リーダーも必要である。